KOBELCO
神戸製鋼グループ

ミライ
カダイ
挑戦商社

神鋼商事株式会社

2026年度　第2四半期
決算説明資料

2026年11月6日



証券コード:8075

2026年度第2四半期 決算概況ならびに通期業績予想

神鋼商事 SHINSHO CORPORATION

サマリー

【第2四半期業績ハイライト】
- 上期の売上高、営業利益、経常利益、純利益がともに**過去最高**
- AI・データセンター需要を背景とした半導体分野や、脱炭素・エネルギー関連の産業機械分野が好調に推移
- 国内外グループ会社での稼ぐ力が向上し、連結業績に寄与

【通期業績予想】
- 上期の好調な業績を踏まえ、通期経常利益予想を125億円から**過去最高の140億円へ上方修正**
- 年間配当予想を、前回の138円から140円へ**増配**

（単位：億円）

	2025年度2Q 実績①	2026年度2Q 実績②	増減額 ③=②-①	増減率 ④=③/①	上方修正 '26年度 業績予想 '26/8/6公表	上方修正 '26年度 業績予想 '26/11/6公表	増減額	修正後 通期予想比 進捗率
売上高	2,928	**3,526**	+599	+21%	7,060	**7,060**	-	50%
売上総利益	188	**224**	+37	+20%	-	-	-	-
販売管理費	135	**141**	+6	+5%	-	-	-	-
営業利益	53	**83**	+30	+57%	135	**148**	+13	56%
経常利益	58	**79**	+21	+36%	125	**140**	+15	56%
（経常利益率 %）	(1.98%)	**(2.23%)**	(+0.27%)	-		-		-
親会社株主に帰属する中間純利益	41	**69**	+28	+70%	95	**100**	+5	69%
1株あたり配当金（円）	53(中間)	**70(中間)**	+17(中間)	-	138(年間)	**140(年間)**	+2	-

@2026 Shinsho Corporation

CONTENTS

2026年度 第2四半期 決算概要

@2026 Shinsho Corporation

2026年度第2四半期 ユニット別経常利益(前年同期比)

神鋼商事 SHINSHO CORPORATION

・全ユニットで基礎収益が増加
・アルミ・銅ユニットは、半導体・空調・EV関連などの需要拡大により、大幅に増益

(単位:億円)	2025年度2Q			2026年度2Q			前年同期比			コメント
	基礎収益	一過性	連結経常	基礎収益	一過性	連結経常	基礎収益	一過性	連結経常	
鉄鋼	21	9	30	25	▲0	25	+4	▲9	▲5	基　礎:主に自動車分野向け投資先の収益が伸長 一過性:前期の特別配当金が剥落
アルミ・銅	12	▲1	11	20	5	25	+8	+6	+14	基　礎:空調用銅管、半導体・EV向けアルミ板、スクラップ等の増加 一過性:地金上昇に伴う増益影響
原料	2	▲1	1	3	1	4	+1	+2	+3	基　礎:マレーシアでのPKS増加
金属 小計	**35**	**7**	**42**	**49**	**5**	**54**	**+14**	**▲2**	**+12**	
機械	14	0	14	18	▲0	18	+4	0	+4	基　礎:大型圧縮機等のメンテ・サービス 半導体検査装置増加
溶接	3	0	3	6	2	8	+3	+2	+5	基　礎:溶接機・ロボット増加、 関係会社の連結化 一過性:地金上昇に伴う増益影響
機械・溶接 小計	**17**	**0**	**17**	**24**	**2**	**26**	**+7**	**+2**	**+9**	
その他	▲1	0	▲1	▲1	0	▲1	0	0	▲0	
合計	**50**	**7**	**58**	**72**	**7**	**79**	**+21**	**+0**	**+21**	

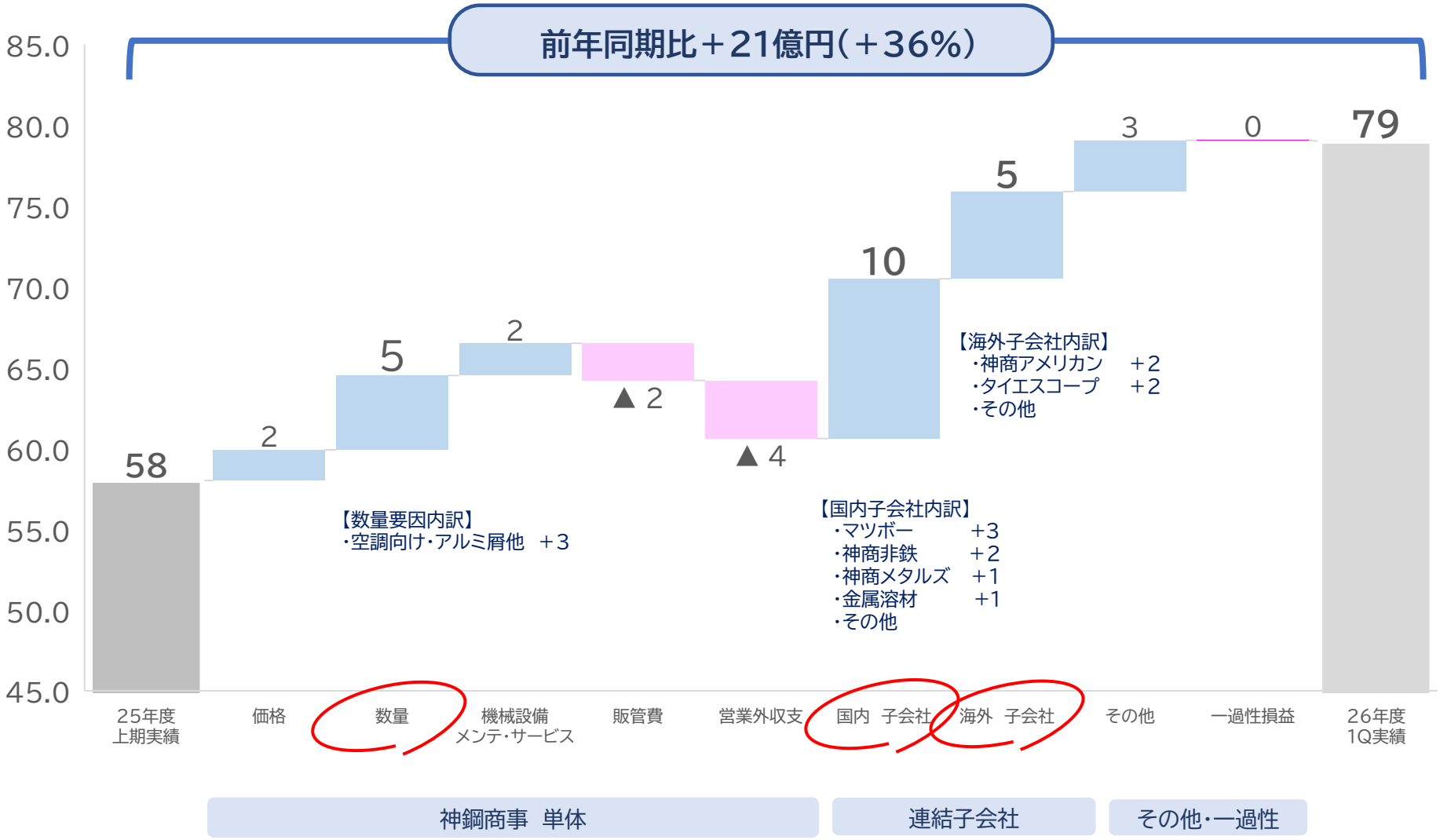
※一過性損益・・・在庫評価、地金影響、為替評価、デリバティブ評価、のれん、特別配当、他

@2026 Shinsho Corporation

2026年度第2四半期 全社経常利益 増減要因(前年同期比)

神鋼商事 SHINSHO CORPORATION

単体の数量増に加え、国内・海外子会社の収益力向上が増益を牽引



※一過性損益・・・在庫評価、地金影響、為替評価、デリバティブ評価、のれん、特別配当、他

@2026 Shinsho Corporation

2026年度第2四半期 需要分野別 売上総利益(前年同期比)

神鋼商事 SHINSHO CORPORATION

売上総利益は前年同期比＋37億円。半導体・産業機械・自動車(日系)の3分野が好調

■ 需要分野別 増減額(全社)



※数値は、社内管理ベース

■ ユニット別 増減と主な需要分野

ユニット	増減	主な増減分野(億円)
鉄鋼	+1	増 自動車(日系)＋2、土木・建築＋1 減 自動車(非日系)▲2、建設機械▲1
アルミ・銅	+15	増 半導体＋6、空調＋3、資源リサイクル＋2 ※地金影響＋4.9 減 その他▲1
原料	+6	増 資源リサイクル＋1、バイオマス＋1、その他＋4 減 その他▲1
機械	+5	増 産業機械＋6、半導体＋1 減 電機・ITその他▲1、建設機械▲1
溶接	+6	増 自動車(日系)＋2、空調＋2、その他＋2 ※地金影響＋2.4 減 輸送機▲1
調整額	+4	
合計	+37	

@2026 Shinsho Corporation

バランスシートの状況

神鋼商事 SHINSHO CORPORATION

（単位:億円）	2025年度 3月末	2026年度 9月末	増 減
流動資産	3,302	3,528	+225
固定資産	534	560	+26
内訳 有形・無形固定資産	112	118	+6
内訳 投資その他の資産	422	442	+20
資産合計	**3,836**	**4,088**	**+252**
流動負債	2,574	2,776	+202
固定負債	253	228	▲25
負債合計	**2,826**	**3,004**	**+178**
自己資本	990	1,062	+72
非支配株主持分	20	22	+2
純資産	**1,010**	**1,084**	**+74**

外部有利子負債	534	543	+9
自己資本比率	25.8%	26.0%	+0.2%
D/Eレシオ	0.5倍	0.5倍	+0.0倍
1株当たり純資産	3,746円	4,076円	
期末株価	2,292円	3,150円	
PBR	0.61倍	0.77倍	

@2026 Shinsho Corporation

CONTENTS

2026年度 業績予想

@2026 Shinsho Corporation

2026年度 事業環境想定

神鋼商事 SHINSHO CORPORATION

半導体・エネルギー・産業機械関連の需要は堅調に推移する一方、一部市場では弱含みや不透明感が継続

【前提条件(下期)】 為替レート:1USD=145円
※感度:年間約±40百万円/1円の変動



業界	前回(8/6)時点	今回	評価
自動車	・日系生産台数は横ばいの見通し ・鋼材価格は値上げ予想	・日系生産台数について、国内・北米は**横ばい～微増**、中国・タイは低調に推移	
半導体	・AI・データセンター・半導体製造装置向けは好調を維持 ・パワー半導体向けは回復基調	・AI・データセンター関連需要は引き続き**堅調** ・パワー半導体向けは緩やかな**回復基調**	
資源リサイクル	・国内アルミスクラップは地金価格が高水準 ・冷鉄源は国内・海外ともに低調	・アルミ・銅スクラップは**堅調** ・冷鉄源の需要は引き続き**低調**	
エネルギー(バイオマス)	・取引先の操業回復により、バイオマス燃料の取扱いは増加	・バイオマス燃料の需要は緩やかな**増加傾向**で、堅調に推移	
産業機械	―	・AI・データセンター、半導体向け需要は堅調 ・化学業界向けは、海外製品流入により競争激化	

※ 事業環境想定は神鋼商事グループを取り巻く事業環境で、必ずしも一般的な事業環境とは一致しません。

@2026 Shinsho Corporation

2026年度 通期業績予想 ユニット別経常利益

神鋼商事 SHINSHO CORPORATION

・半導体向けアルミ部材の増加や、鋼材・地金価格の上昇も寄与し、経常利益予想を140億円（＋15億円）へ上方修正

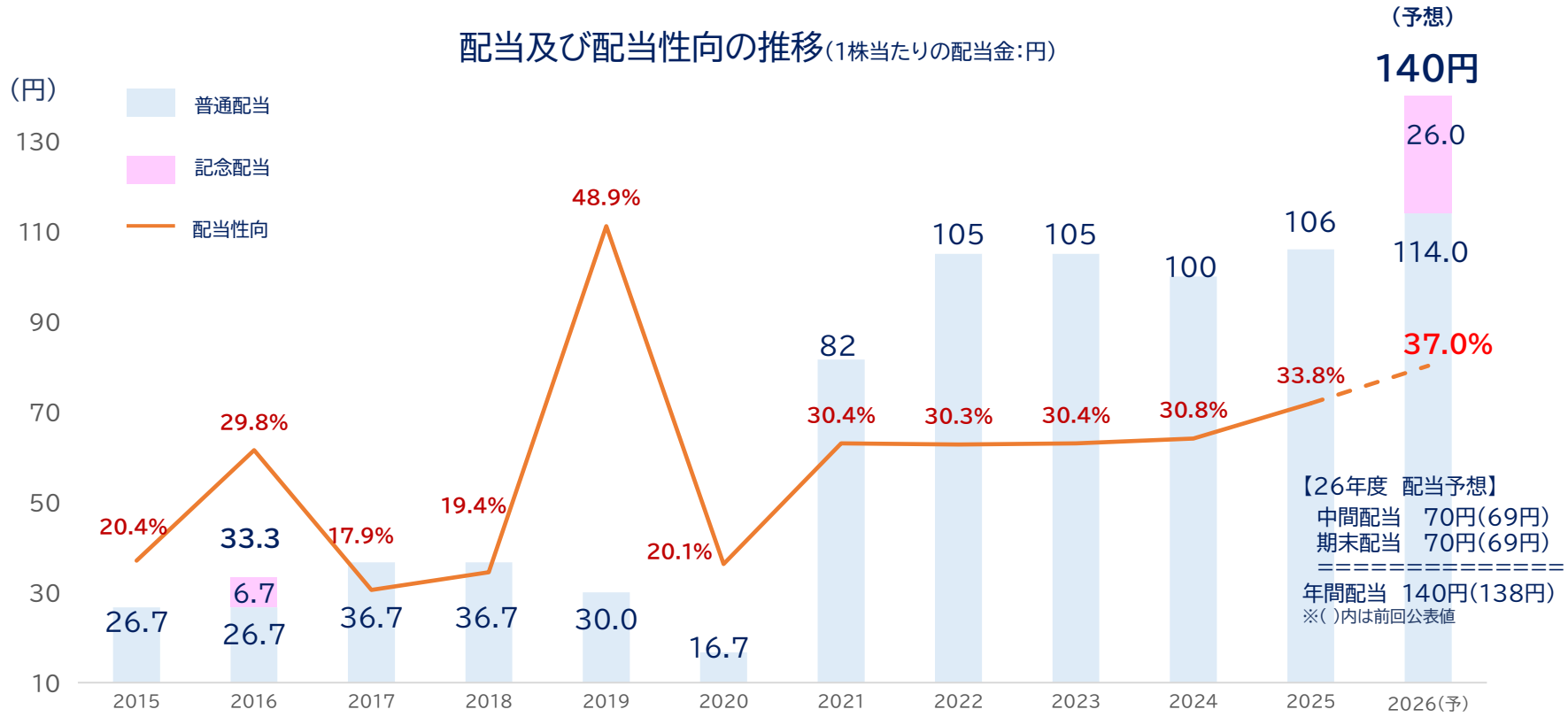
（単位：億円）	25年度	26年度				通期予想（前回業績予想からの変化点）
	実績	通期予想（5/13公表）	前回業績修正（8/6公表）	今回業績修正（11/6公表）	前回比	
鉄鋼	47	39	40	46	+6	自動車分野向け投資先収益が増加 鋼材価格が上昇基調
アルミ・銅	28	27	32	41	+9	半導体向けアルミ部材や空調銅管の需要が好調に推移
原料	▲1	9	9	8	▲1	冷鉄源の需要は低調
金属 小計	**75**	**75**	**81**	**95**	+14	
機械	31	31	35	35	-	大型圧縮機サービス、半導体関連を中心に堅調に推移
溶接	6	9	12	13	+1	国内溶材価格は上昇基調
機械・溶接 小計	**37**	**40**	**47**	**48**	+1	
その他	▲2	0	▲3	▲3	-	
合計	**110**	**115**	**125**	**140**	+15	

@2026 Shinsho Corporation

株主還元方針・配当予想

- 配当方針 ：「連結配当性向30%以上、または1株当たり配当100円のいずれか高い方とする」
- 2026年度の年間配当金は、普通配当を前回公表値から**2円増配**の114円とし、
  創立80周年記念配当26円を加えて、**年間配当140円**とします（中間70円、期末70円）

2026年度 年間配当予想	中間配当	配当性向
140円 増配 普通配当 前回予想比 ＋2円（112円→114円）	70円	37.0%



※2025年4月1日を効力発生日として1株を3株に分割しており、2015年～2024年のグラフについては、3分割調整後のグラフとしております。

@2026 Shinsho Corporation

CONTENTS

中期経営計画2026の進捗

@2026 Shinsho Corporation

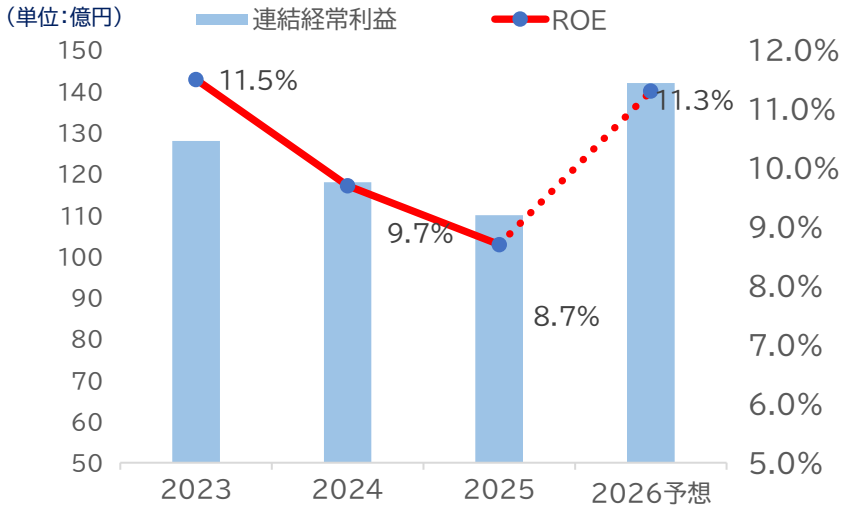
中期経営計画2026の進捗状況(KGI)

神鋼商事 SHINSHO CORPORATION

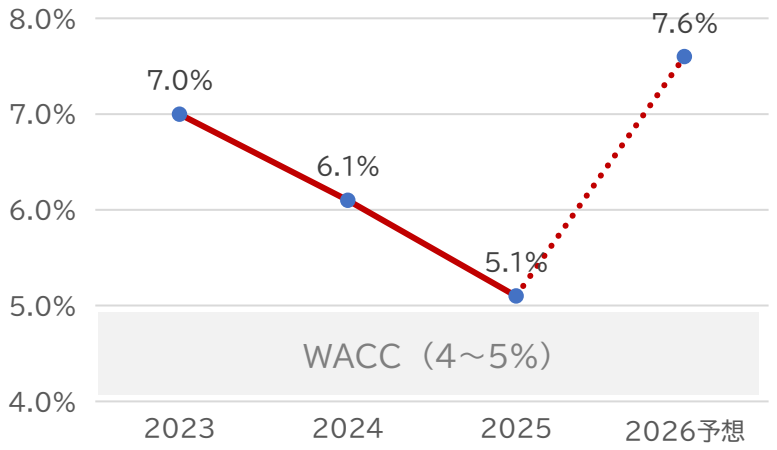
- 資本効率を重視した経営を推進し、財務基盤も着実に強化
- 中計KGIのROE、ROIC、自己資本比率は目標を上回る予想

指標	2024年度 実績	2025年度 実績	2026年度 今回 業績予想	2026年度 中計目標
連結経常利益	118億円	110億円	**140億円**	145億円
ROE	9.7%	8.7%	**11.3%**	10.0%以上
ROIC	6.1%	5.1%	**7.6%**	6.5%
自己資本比率	23.6%	25.8%	**26.4%**	21%以上
(参考)D/Eレシオ	0.7倍	0.5倍	**0.5倍**	0.7倍以下目安

連結経常利益とROEの推移



ROICの推移



@2026 Shinsho Corporation

3つの柱と成長分野における投融資等取組み状況(中計期間)

神鋼商事 SHINSHO CORPORATION

中計期間の投資累計額は、230億円の計画に対し、投資の時期ズレ等によりキャッシュアウトベースでは未達も、意思決定ベースでは289億円を見込む。

3ヵ年累計投資額(意思決定ベース)	3ヵ年累計投資額(キャッシュアウト)
289億円	164億円

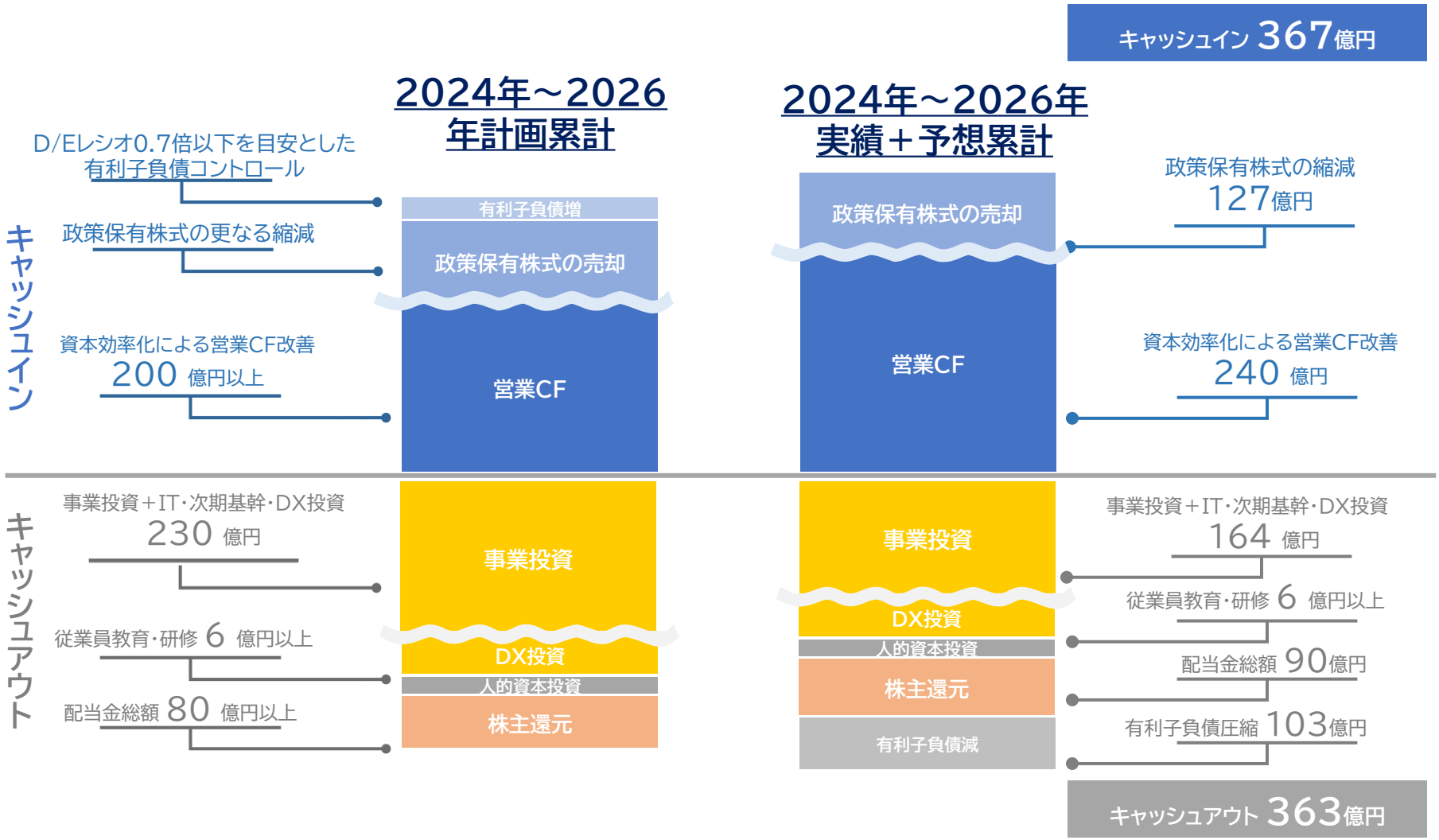
主な事業分野	KOBELCOグループ ビジネス	神鋼商事オリジナル サプライチェーン	新規事業推進
自動車	実行済 インド/線材部品事業出資 海外/地産地消強化 商社機能強化　DX推進	KGモーターズ　EV事業支援 中国/EV向けアルミ加工	
半導体・FPD		国内/アルミ加工事業化検討 中国/アルミ加工地産地消	
資源循環	会社設立 アルミ・ゾルバ屑　高度選別	稼働中 アルミ・サッシ屑　高度選別 ベトナム/アルミ再生事業	
エネルギー	脱炭素　新商品開発	稼働中 椰子殻(PKS)　海外ヤード	国内/ブラック・ペレット事業 海外/ブラック・ペレット事業
ものづくりの現場	稼働中 中国/工具コーティング事業 成膜装置拡大	稼働中 インド/建機部品　生産増強 実行済 ろう材製造事業買収	
その他		流通再編	ちとせ　藻類大規模生産 UMI　環境スタートアップ

鉄鋼ユニット　アルミ・銅ユニット　原料ユニット　機械ユニット　溶接ユニット　新事業推進室

@2026 Shinsho Corporation

キャッシュアロケーション（中計期間）

財務規律の徹底によりキャッシュ創出力を強化
財務健全性を維持しつつ、成長投資、収益化、株主還元、再投資の持続的成長サイクルを目指す方針



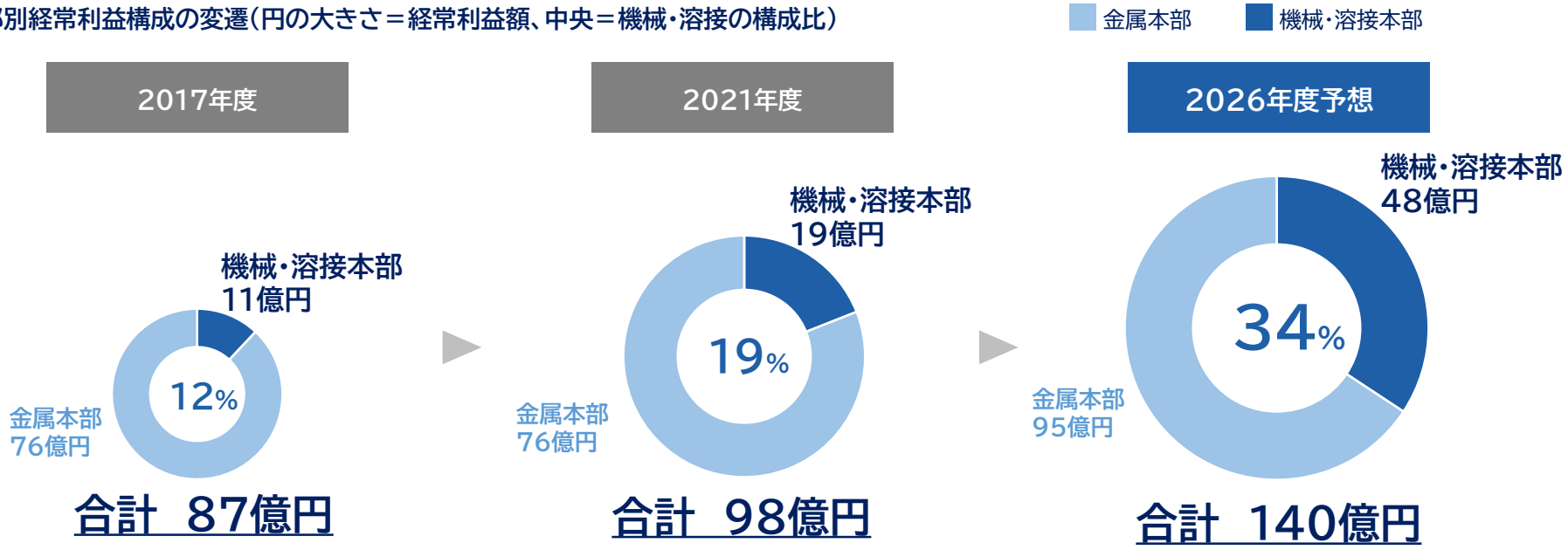
@2026 Shinsho Corporation

事業ポートフォリオの変遷 ～機械・溶接の利益が伸長～

神鋼商事 SHINSHO CORPORATION

事業ポートフォリオは、この10年余りで機械・溶接が利益の約34%を占める構成へ変化

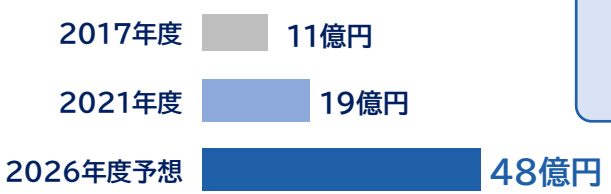
本部別経常利益構成の変遷（円の大きさ＝経常利益額、中央＝機械・溶接の構成比）



※合計額については、その他・調整額含んでいます。

機械・溶接本部

経常利益額も伸長



10年で
約5倍

伸長の背景

- 社会のニーズにマッチした脱炭素関連機器・メンテナンスサービスを拡充
- 技術サービスの差別化による収益拡大（マツボー 他）
- 建機部品のグローバル供給体制の構築

@2026 Shinsho Corporation

CONTENTS

成長分野における投融資

①　石炭代替燃料製造事業（ブラック・ペレット事業）
②③ アルミ資源循環ビジネス
④　ろう材製造事業への参入（金属溶材）

@2026 Shinsho Corporation

①石炭代替燃料製造事業(ブラック・ペレット事業)

国内初のブラックバークペレット(BBP)製造工場が愛媛県西条市で竣工

- 廃棄されてきた未利用バイオマスである樹皮を活用して、石炭の代替となる燃料を製造
- 2026年7月15日、当社が出資するローカルエナジーシステム/西条工場の竣工式を実施



(竣工式の様子)

事業概要

会社名	ローカルエナジーシステム株式会社
本社所在地	大阪府大阪市
株主	株式会社熊谷組 神鋼商事株式会社 清本鉄工株式会社
工場名	西条工場
所在地	愛媛県西条市
竣工	2026年7月
敷地面積	12,000 m^2
製品	ブラックバークペレット
年間生産量	30,000 mt
原料	樹皮(バーク)
会社HP	https://localenesys.co.jp/



(広告掲載)

@2026 Shinsho Corporation

低品位アルミ屑の高度選別により、展伸材(圧延)用原料にアップグレード

- 2026年4月1日「Vesper Metals」を設立、茨城県筑西市に工場建設予定
- 重要かつ低炭素資源であるスクラップの国外流出を抑え、国内循環を促進
- 低品位アルミ屑を鋳物材用と展伸材用、さらに合金別に選別する先駆的取り組み
- スクラップ集荷地域の更なる事業展開を検討(西日本・海外へ展開予定)

事業概要

会社名	Vesper Metals株式会社
設立	2026年4月1日
株主(出資比率)	神鋼商事株式会社 70% 田口金属株式会社 30%
工場予定地	茨城県筑西市(敷地約10,000㎡、建屋約6,000㎡)
稼働予定	2027年10月
年間生産量	15,000mt
売上高目標	約61億円
事業内容	非鉄金属スクラップの高度選別および選別済み スクラップの販売
原料	市中に出回る低品位なアルミスクラップ



@2026 Shinsho Corporation

③アルミ資源循環ビジネス(アルミ・サッシ屑 高度選別)

自動・高度選別により「サッシ to サッシ」の水平リサイクルを実現

- クルマ商事(富山県)をパートナーとして、建材用アルミサッシ屑の水平リサイクルを事業化
- 今後増加するサッシメーカーのリサイクル原料ニーズに対応

事業概要

事業地	富山県射水市(クルマ商事敷地内)
量産開始	2026年5月
年間生産量	7,200 mt
売上高目標	売上高:約27億円
事業内容	建材用アルミサッシ屑の高度選別および 選別済みアルミサッシ屑の販売
原料	使用済のビス付きアルミサッシ



※5月11日開催「アルミサッシリサイクルプラント完成披露式典」の様子



建材用サッシ屑



破砕機を用いて細かく破砕



選別工程

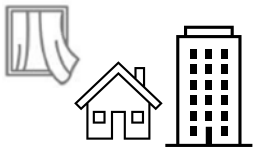


格上げアルミサッシ屑

水平リサイクル

サッシメーカー

解体



製品として使用

@2026 Shinsho Corporation

④ろう材製造事業への参入(金属溶材)

2026年1月に金属溶材(株)を完全子会社化

・当社が扱う溶接材料に加え、金属溶材が製造する各種ろう材をラインナップに加えることで、お客様へ「接合ソリューション」をワンストップで提供できる体制を構築

・神鋼商事グループの接合ソリューション事業の中核企業として、お客様のものづくりの高度化と持続的成長に貢献

会社概要・強み

設立	1962年
本社工場	埼玉県熊谷市(敷地 約4,450㎡)
従業員	約20名
取引先	国内外300社以上
主な用途	自動車・エアコン配管、熱交換器 等

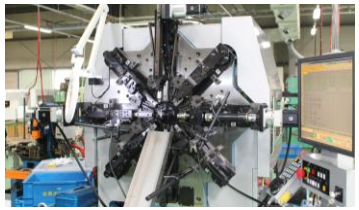
・約20種類のろう材、数千アイテムを常時取扱い

・コイリング・フォーミングマシン等、50台以上の加工設備を保有

・多品種・少量・短納期対応と、材料・加工・技術提案を組み合わせた総合ソリューションが強み



ろう材



コイリング・フォーミングマシン

今後の取組み

グループシナジーの発揮
当社の溶接材料に金属溶材のろう材を加え、接合に関する幅広いソリューションを展開

新規領域の開拓
データセンター(冷却部品等)・半導体関連など、異種金属接合や気密性が求められる用途へろう材の拡販を目指す

自動化・省人化
酸洗い工程の自動化を検討し、安全対策も強化。当社の機械・設備の知見を活かし自動化・省人化に取り組む

海外展開
当社の海外拠点を活用し、タイ・ASEANの日系ユーザー向けにろう材の販売拡大を想定

※ろう材
接合する方法である溶着の一種。接合する部材(母材)よりも融点の低い合金(ろう)を溶かして一種の接着剤として用いる事により、母材自体を溶融させずに複数の部材を接合させることができる。

@2026 Shinsho Corporation

CONTENTS

トピックス

① 創立80周年にあたっての取組み
② DXの取組み

@2026 Shinsho Corporation

① 創立80周年にあたっての取組み

神鋼商事 SHINSHO CORPORATION

神鋼商事は2026年11月に創立80周年を迎えます。
これまで当社を支えてくださったお客様・お取引先をはじめ、すべてのステークホルダーの皆様に感謝申し上げます。
神鋼商事グループは、80周年を新たな出発点に、「ミライカダイへの挑戦」を通じて、豊かな社会づくりとみんなの幸せを目指し、魅力ある成長ストーリーを描くことにより、更なる企業価値の向上を図ります。

広報企画

新たな当社イメージ「ミライカダイ、挑戦商社」を
社内外に発信しさらなる当社の認知度向上を図ります

①当社パーパスフレーズロゴが決定

ミライ
カダイ
挑戦商社

②80周年特設ホームページ

・80年の歩みと、100周年に
向けた挑戦を紹介予定



③デジタルサイネージ広告

東京駅八重洲口・淀屋橋駅北口で
掲出中（期間10月～11月）



社内の取組み紹介

「自ら変化に挑む
人の力で価値をつくり・むすび・ひらき
ワクワクする未来を創造する　」
パーパスの実現に向けて

①「神商チャレンジ活動」
社会的価値を起点に、全社で挑戦

グループ全社員を対象に「社会的価値の発想」を起点に
自主的にテーマを設定し、チームを組成。
約1年かけて仕組み化・実行し挑戦文化を醸成。

取組み例
・廃材から楽器をつくり、社員と演奏会を開催
・取引先とつながり、日本のコメ農業を支援　等々

②社内80周年創立記念イベントの実施

・約60テーマから優れた「神商チャレンジ活動」を表彰
・その他社内交流イベント等により、90周年、
100周年に向けグループ一丸となる機会へ

@2026 Shinsho Corporation

② DXの取組み

1. 経済産業省「DX認定事業者」に認定（2026年10月1日付）

DX推進の目的：**企業価値向上** ― 事業活動と働き方の両面で変革を進め、商社機能を強化

DX認定

「情報処理の促進に関する法律」に基づき、「デジタルガバナンス・コード」に対応する企業を国が認定する制度

顧客視点の提供価値創出

営業情報（お客様からの引合い・営業活動）を本部横断で共有する仕組みを構築

生産性向上・働き方改革

デジタル活用で事務業務を効率化し、本来の営業活動の比重を高める

DX人材育成

各本部の推進役を育成、研修等で全社員のデジタルリテラシーを向上

今後：これまでの取組みを発展させるとともに、進化するAI技術の活用を推進

2. 線材サプライチェーンDX / 「D-ACE」 2026年11月 運用開始

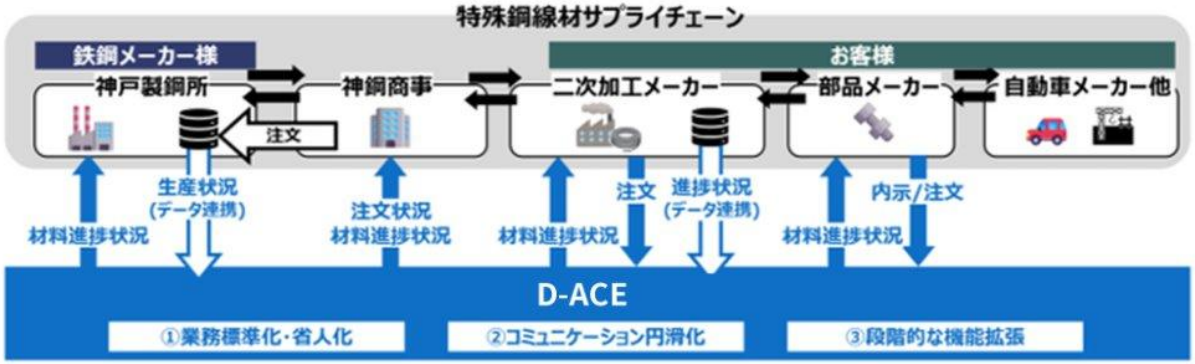
D-ACE

※商標登録出願中

目指す姿：業務標準化・省人化、最適生産・最適在庫の実現

2026年3月13日　プラットフォーム構築に関するお知らせを公表
神戸製鋼所の特殊鋼線材サプライチェーンに特化したプラットフォーム（仮称）について、2026年末頃の運用開始を目指し開発

2026年11月　プラットフォーム名「D-ACE」として運用開始
線材二次加工メーカー様向けで開始しており、部品メーカー様向けについては現在構想中



@2026 Shinsho Corporation

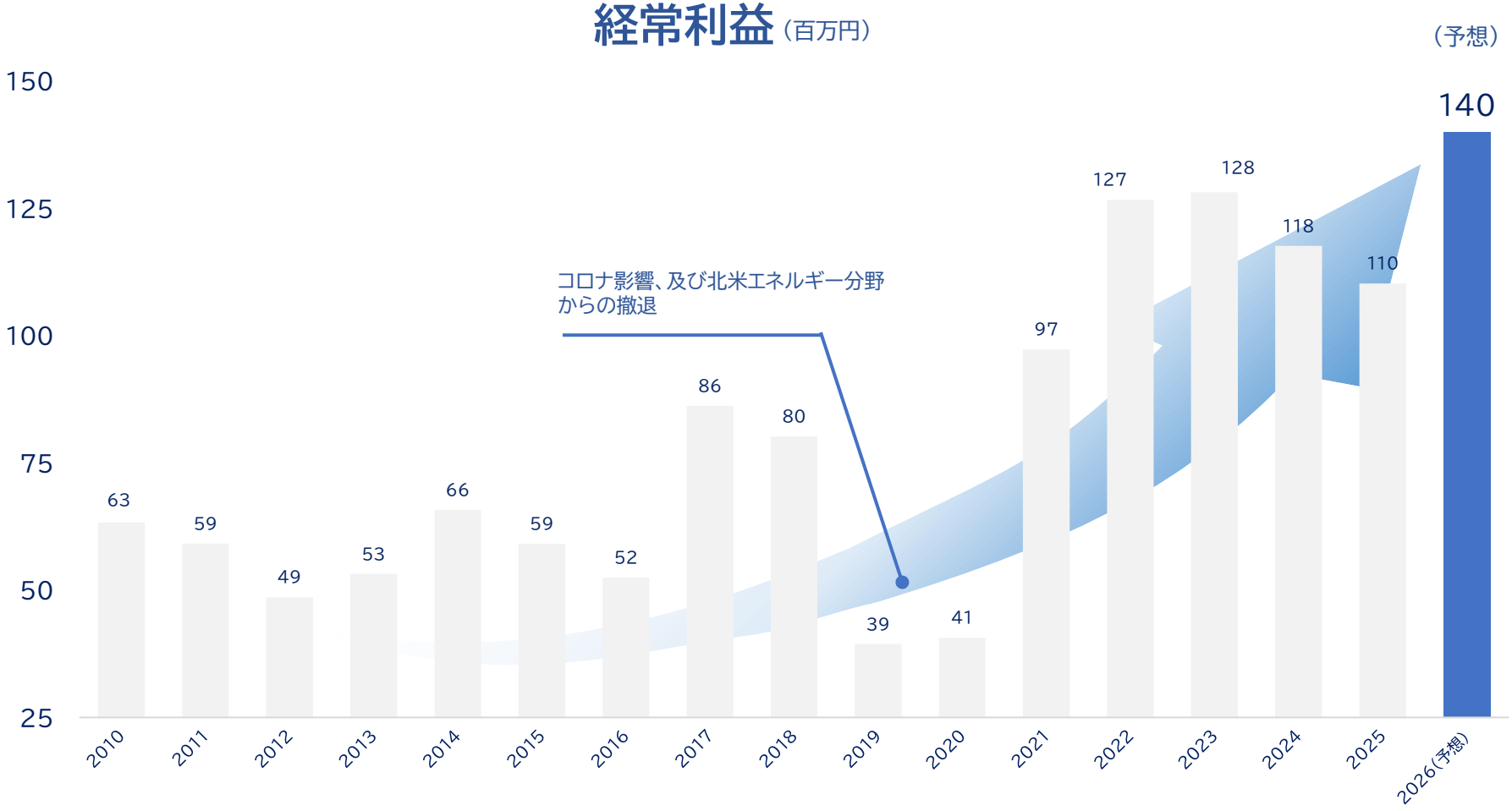
CONTENTS

参考資料

@2026 Shinsho Corporation

連結経常利益の推移

コベルコグループの安定した事業基盤と、着実に高めてきた『稼ぐ力の強化』と 社会的価値のある『成長投資の促進』により次の成長を目指していきます。



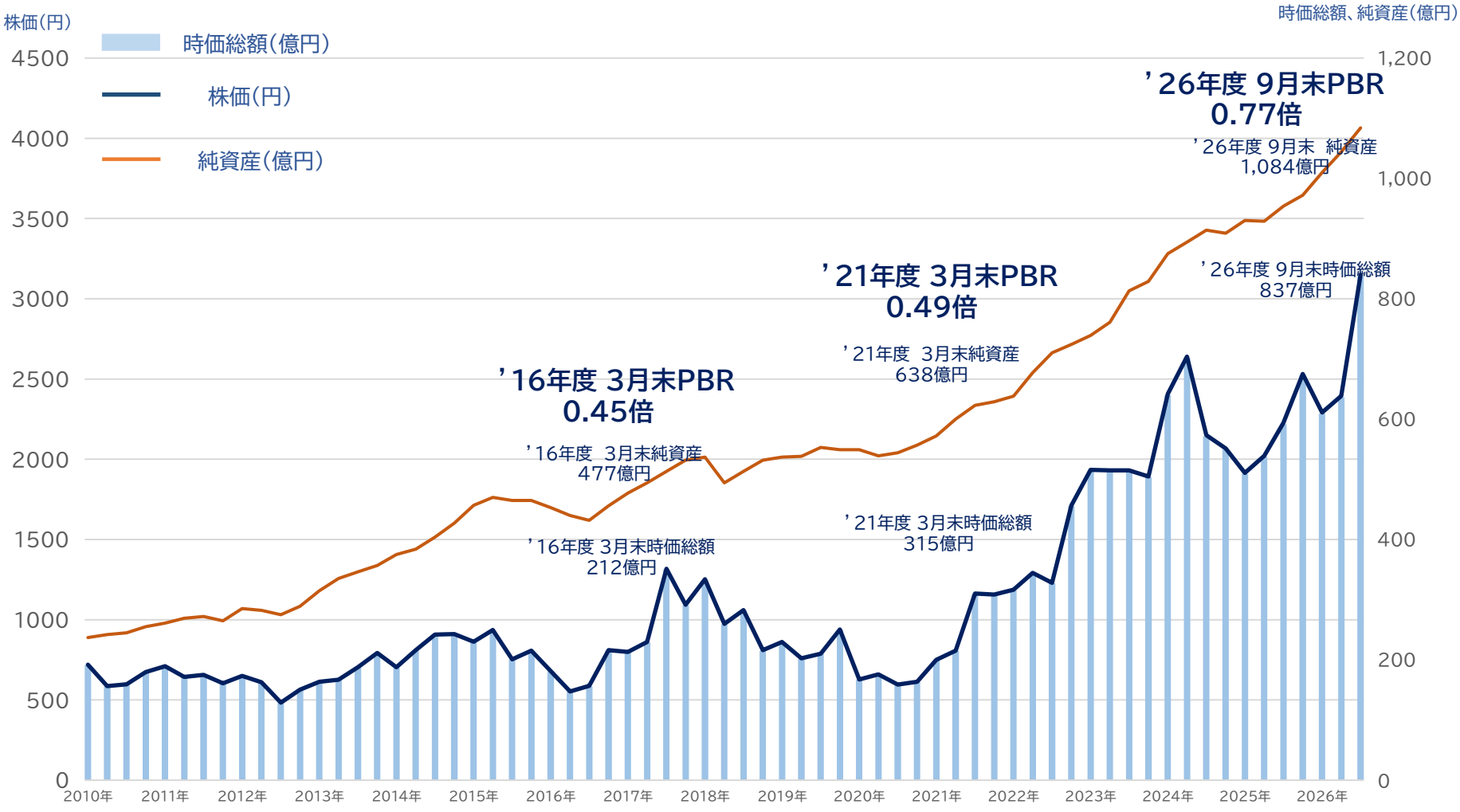
※経常利益は1Q資料の推移データ（百万円）を億円に四捨五入。年度表記は要確認

@2026 Shinsho Corporation

純資産・時価総額の推移

神鋼商事 SHINSHO CORPORATION

・着実な純資産の積み上げにより財務基盤が強化
・株価上昇によりPBRも改善。更なる企業価値の向上を目指す。



※2016年10月に株式併合(10株→1株)、2025年4月に株式分割(1株→3株)。調整後の値で表示

@2026 Shinsho Corporation

企業理念

私たちは誠実をモットーに、新しい価値の創造を通じて、
豊かな社会づくりと、みんなの幸せをめざします。

パーパス

自ら変化に挑む
人の力で価値をつくり・むすび・ひらき
ワクワクする未来を創造する

本資料に記載されております業績予想並びに将来見通しは、金融商品取引法上のディスクロージャー資料でなく、現時点で予測可能な情報に基づき当社が判断したものであり、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、様々な要因により記述されている将来予想とは大きく異なる可能性があり、不確定要素を含んでおります。従いまして、本資料のみで投資判断されますことはお控えくださいますようお願いいたします。
本資料の利用で生じた損害を、当社では責任を負いかねますことご承知おき願います。

お問合せ先：神鋼商事株式会社 総務部 IR・広報チーム
ir.shinsho@kobelco.com

@2026 Shinsho Corporation